

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スパークスタジオみなみ野 Rainbow Kids		
○保護者評価実施期間	2025年2月5日		2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	2025年3月8日		2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育士が固定化しないように順番に行うことで、様々な刺激を取り入れることができる。□	・同じ職員が多い回数連続して担当にならないよう、配置を調整しています。勤務や他のお子様との都合上で連続になってしまう際は、遊びの内容が固定化されないように工夫を行っています。	・保護者様からのご家庭での様子などフィードバックの際に聞いた情報を職員間で共有していく。 ・子どもの様子やねらいなどを共有し合い、立てたねらいの元、療育を行う。また、療育後には子供がどんな様子だったか、次のねらいや取り入れてほしい動きなどを話し合っていくことで、より良い療育につなげていく。
2	活動プログラムが固定されないように工夫されている。□	・職員が担当制ではない為、利用しているお子様一人ひとりの発達段階・特性を理解し、多様な視点から、広く支援に関わることができるように取り組んでいます。 ・慣れ親しんでいる遊びが続いたり、ルーティン化しているものについては、お子様の意思を尊重しながら、新たな興味・関心に触れられるよう、感覚、感情の表現や提示の方法について工夫を行っています。	・外部研修等の充実を図るとともに、より一層、職員の専門性を高めていきます。 ・療育内容や支援内容について日々の振り返り、ミーティングでの話し合いの場を設けていきます。 ・個別支援計画との照らし合わせを定期的に行いながら、実態に即した支援方針、支援内容について検討していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容の共有や事務連絡等、職員間の積極的な連携	・療育時間の構造上、職員同士で事務連絡等の共有の時間の確保が難しい状況があります。 ・日々の事業所運営の中で、最低限の情報共有は行われているが、毎月の事業所内会議の中で、支援内容の検討や、療育内容についての振り返り等を話し合う機会が少ない状況があります。	・空き時間を活用して、話し合いの時間を積極的に設定することを目指していきます。 ・web会議ツールや共有ツールなどを活用し、円滑なコミュニケーションを図っていきます。
2	ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムの機会について□	・多機能事業所であることから、発達段階や特性が多様化されており、それぞれの悩み、課題等も異なることから、一律的にペアレントトレーニングを実施する際のニーズの把握とテーマ設定について、検討する必要があります。 ・ペアレントトレーニング、家族支援に対しての専門的知識がある職員が不足している状況があります。	・保護者同士が上手く情報を共有したり、保護者間が関わられるような茶話会・保護者会等の開催を含めたコミュニティ作りから目指していきます。 ・ペアレントプログラム等のニーズがあるか等、アンケート・聴き取りを実施しながら、必要に応じて提供していきます。 ・個々の相談・面談等を定期的実施することで、課題に応じた情報提供を行うとともに、外部の研修講師等の活用について検討していきます。
3			